

10/19/23

DIALOG(R)File 347:JAPIO

(c) 2004 JPO & JAPIO. All rts. reserv

05616490 \*\*Image available\*\*

ENTRANCE EXAMINATION APPLICATION SYSTEM

PUB. NO.: 09-231290 [JP 9231290 A]

PUBLISHED: September 05, 1997 (19970905)

INVENTOR(s): HAGA MASASHI  
KURIBAYASHI TETSUHIRO  
YAMASHITA KATSUMI

APPLICANT(s): HITACHI LTD [000510] (A Japanese Company or Corporation),  
JP

(Japan)

APPL. NO.: 08-037679 [JP 9637679]

FILED: February 26, 1996 (19960226)

INTL CLASS: [6] G06F-019/00; G06F-003/14

JAPIO CLASS: 45.4 (INFORMATION PROCESSING -- Computer Applications);  
45.3

(INFORMATION PROCESSING -- Input Output Units)

JAPIO KEYWORD:R107 (INFORMATION PROCESSING -- OCR & OMR Optical  
Readers)

#### ABSTRACT

PROBLEM TO BE SOLVED: To reduce the burden of production of an application form and also to reduce the burden of electronic jobs for check of the application forms and the generation of data at a university by distributing the application forms and the check programs via a storage medium and by accessing them via the electronic mails.

SOLUTION: An application form/check program editing part 103 edits the contents of a storage means 101. An applicant sets a storage medium 108 storing his application form and input check program to a processor 110 and performs an input operation of the application form. Then this input operation is checked. A completed application form is stored in the medium 108 such as a floppy disk, etc., and sent to a university or sent to the university through an electronic mail, etc., via a public circuit network 109. An application check part 104 of a host computer 102 of the university adds an examinee's number, etc., to the application form data received via the medium 108 or an electronic mail control part 106. Then an application master production part 105 stores the contents of the application form in

EO  
242

an application master 107.

***This Page Blank (uspto)***

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平9-231290

(43) 公開日 平成9年(1997)9月5日

(51) Int.Cl. <sup>6</sup>	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
G 0 6 F 19/00			G 0 6 F 15/22	C
3/14	3 4 0		3/14	3 4 0 A
			15/22	N

審査請求 未請求 請求項の数 1 O L (全 6 頁)

(21) 出願番号 特願平8-37679

(22) 出願日 平成8年(1996)2月26日

(71) 出願人 000005108

株式会社日立製作所

東京都千代田区神田駿河台四丁目6番地

(72) 発明者 芳賀 雅司

東京都江東区新砂一丁目6番27号株式会社

日立製作所公共情報事業部内

(72) 発明者 栗林 鉄浩

東京都江東区新砂一丁目6番27号株式会社

日立製作所公共情報事業部内

(72) 発明者 山下 克己

東京都江東区新砂一丁目6番27号株式会社

日立製作所公共情報事業部内

(74) 代理人 弁理士 小川 勝男

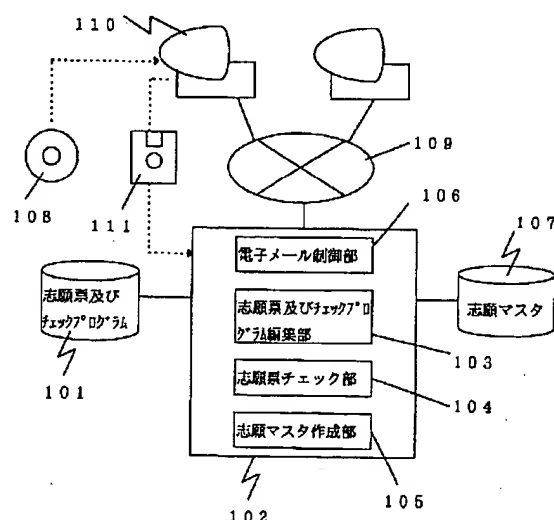
(54) 【発明の名称】 入試志願システム

(57) 【要約】

【課題】 志願票作成にかかる志願者の負担の軽減と、大学側での志願マスタの作成にかかる作業負担を軽減する。

【解決手段】 志願票作成のための入力画面情報と、入力項目の内容をチェックする為のチェック情報と、前期チェック情報と入力された志願票作成データを比較して内容のチェックを行うチェックプログラムを志願者に提供し、志願票作成時において前記入力画面情報をもとに志願票作成画面を表示し、志願票作成データが入力された際に前記チェックプログラムによって志願票作成データとチェック情報により、入力内容のチェックを行う。

図1

EO  
1082

#### 【特許請求の範囲】

【請求項1】 志願票作成の為の入力画面情報と、入力項目の内容をチェックする為のチェック情報と、前期チェック情報と入力された志願票作成データを比較して内容のチェックを行うチェックプログラムを通信回線を介して志願者に提供し、志願票作成時において前記入力画面情報をもとに志願票作成画面を表示し、志願票データが入力された際に前記チェックプログラムによって志願票作成データとチェック情報により、入力内容のチェックを行う事の特徴とした入試志願システム。

#### 【発明の詳細な説明】

##### 【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、大学などの教育機関で行われる入学試験への志願に関する。

##### 【0002】

【従来の技術】 従来、大学などで実施される入学試験の志願方法としては、大学等からの郵送・または書店より購入した志願票（OCR用紙・手書き）に志願者が記入マニュアルを参照しながら直接記入し、大学へ送付している。また、大学側では郵送されてきた志願票をデータ入力し、志願者マスタを作成している。このため、志願者にとっては記入ミスによる書き直しや再発送など志願者側の負担は大きく、更に大学側では送られてきた志願票のチェックおよびデータの電子化などの作業量が多く、ミスも発生している。

##### 【0003】

【発明が解決しようとする課題】 上記のように従来の志願方法では、志願者にとっては記入ミスによる書き直しや再発送など志願者側の負担は大きく、更に大学側では送られてきた志願票のチェックおよびデータの電子化などの作業が多く、ミスも発生しやすいといった問題点がある。本発明の目的は、志願票の記入ミスを減少させるシステムを提供する事によって志願者の記入ミスによる書き直しや再発送の負担を軽減すると共に、大学側での志願票のチェックやデータの電子化作業の負担を軽減する事にある。

##### 【0004】

【課題を解決するための手段】 上記課題を解決するためには以下の様にすれば良い。

【0005】 志願票作成の為の入力画面情報と、入力項目の内容をチェックする為のチェック情報と、前期チェック情報と入力された志願票作成データを比較して内容のチェックを行うチェックプログラムを志願者に提供し、志願票作成時において前記入力画面情報をもとに志願票作成画面を表示し、志願票データが入力された際に前記チェックプログラムによって志願票作成データとチェック情報により、入力内容のチェックを行う事の特徴としている。

##### 【0006】

【発明の実施の形態】 以下、図面を引用しながら本発明

の入試志願システムを詳細に説明する。

【0007】 まず、図1を用いて処理概要を説明する。

【0008】 101は志願票の入力画面や各入力項目のチェックプログラムを格納している記憶手段、102はホストコンピュータ、103は記憶手段101の内容を編集し、電子メールやCD-ROM等の記憶媒体で志願者に提供する為の志願票およびチェックプログラム編集部である。104は志願者が作成した志願票に受験番号などの付加をおこなう志願票チェック部、105は志願票から志願マスタを作成する志願マスタ作成部、106は志願票を電子メールで提供したり、志願者が作成した志願票を電子メールで受け取る為の電子メール制御部、107は志願票の内容を格納する志願マスタである。108は前記志願票およびチェックプログラム編集部103によって編集された内容が格納された記録媒体であり、CD-ROM等で実現される。109は公衆回線網である。110は志願票作成のための処理装置であり、ワークステーションやパーソナルコンピュータで実現される。111は作成された志願票を格納する記憶媒体であり、フロッピーディスクなどで実現される。

【0009】 まず、志願票およびチェックプログラム編集部103において記憶手段101の内容が編集される。そして、CD-ROMなどの記憶媒体などによって志願者へ配布されたり、公衆回線を通じて電子メールなどによって志願者がアクセス可能な状態となる。志願者への志願票やチェックプログラムの配布方法は上記のような記憶媒体での配布や公衆回線を利用した電子メールなどによる配布が考えられるが、本実施例では、CD-ROM等の媒体によって配布される場合を例にとり説明する。

【0010】 志願者は志願票および入力チェックプログラムが格納されている記憶媒体を、110の処理装置へセットする。

【0011】 志願者は処理装置110から志願票へ入力を行う。その際、入力のチェックが行われる。完成した志願票はフロッピーディスク等の記憶媒体に記憶して大学側に送付するか、公衆回線網109を利用して電子メールなどで大学側に伝送する。

【0012】 大学側では、送付された記憶媒体や電子メールで送られた志願票データ（電子メール制御部106で受信する）を、出願チェック部104で受験番号の付加等を行い、志願マスタ作成部105によって、志願票の内容が志願マスタ107に格納される。

【0013】 次に、志願票作成作業について図2・図3・図5のフローを用いて説明する。

【0014】 志願者は、CD-ROM等の記憶媒体で提供される志願票および入力チェックプログラムを処理装置110にセットして志願票作成の為の入力チェックプログラムを起動する。（ステップ501）

起動命令により、入力チェックの為のテーブルが展開さ

れ、入力画面が入力画面データ記憶部205に格納され、画面制御部206を通じて表示装置202に表示される。(ステップ502)

図2は入力チェックプログラムが処理装置110内で展開された時の構成図である。

【0015】201は制御部、202は表示装置でありCRTディスプレイなどで実現され、203は入力装置、204は記憶装置であり磁気ディスク装置やフロッピーディスクなどで実現される。制御部201は、205から211の各手段が存在する。

【0016】205は入力画面データ(志願票)を記憶している記憶部、206は入力装置203から入力されたデータやコマンド等の入力操作を表示装置202に表示する為の制御を行う画面制御部、207は入力装置203の制御を行う入力制御部、208は入力チェックの為に展開されたチェックテーブル、209はチェックテーブルと入力内容とを比較してチェックする入力項目チェック部、210は作成した志願票を記憶部へ格納する為の記憶装置制御部、211は電子メール制御部である。

【0017】図3は、入力画面データ205とチェックテーブル208の関係の一部と志願票を大学側に送付する際に利用する電子メールのアドレスを示したものである。

【0018】301は入力画面(志願票)のイメージであり、302から308はチェックテーブルの内容の一部である。302は志望学部名、303は志望学科名、304は同一内容項目、305は学校毎に付加された高等学校等コード、306は高等学校等名、307は当該学校に存在する課程、308は同じく学科を示している。304の同一内容項目とは、氏名などのように志願票だけでなく受験票にも同じ内容を入力する必要がある場合に、その位置情報を記憶しているものである。309は作成した志願票を大学側に送付する際に利用する電子メールのアドレスである。

【0019】志願票の作成は画面に表示された入力画面に志願者が入力手段203から入力操作を行う。(ステップ503)

入力がされた内容が、入力項目チェック部209によってデータ入力操作なのかコマンドなどの入力操作なのかの判断が行われ、入力操作であればステップ505に制御が移り、それ以外であれば508に制御が移る。(ステップ504)入力された内容がデータであれば、入力データとチェックテーブルを入力項目チェック部209によってチェックされる。例を挙げると、高等学校等コードに「11111A」が入力された場合、チェックテーブルの高等学校等コード305を入力された値(11111A)をキーとして検索する。該当するレコードが存在すれば正しい入力と判断され、該当するレコードが無い場合は入力ミスと判断され、志願者にメッセージなど

で通知し、再入力を要求する。該当するレコードがある場合は、そのレコードの高等学校等名306の内容を抽出し、入力画面の高等学校等名に「日本高等学校」が自動的に表示される。また、課程の入力領域に入力の為にカーソルを位置付けると入力候補であるチェックテーブルの307課程の部分の内容「全日制」「定時制」が別画面に表示され、そこを選択する事によって課程の入力領域に選択した内容が入力される。間違った高等学校等コードを入力した場合でも、高等学校等名が画面に表示されるので、志願者は入力ミスである事に容易に気付くことになる。また、志望学部・学科や氏名などの様に、志願票と受験票の入力内容が共通する項目については、304の同一内容に格納されている位置情報をもとに、入力された内容を入力項目に表示していく事により同じ内容を何度も入力する手間を省く事が出来る。(ステップ503~505)

ステップ505で正しい値と判断された場合には、その入力データを内部メモリに一時保存する(ステップ506)

次の入力項目へカーソル移動などを行う(ステップ507)

ステップ504でコマンド入力と判断された場合は、未入力項目が存在するかのチェックが行われる。これは、入力データは正しい値と判断されると一時保存される為、その保存されているデータをチェックする事により可能となる。そして、未入力項目がある場合は、入力操作を要求し、全ての項目に入力されている場合は、保存データを記憶装置制御部210を通じて記憶装置204へ格納する。(ステップ509)

志願者は入力装置203から終了命令を入力し、志願票作成を終了する。(ステップ510)

大学側から提供される志願票および入力チェックプログラムの入った記憶媒体や電子メールには、大学側の電子メールのアドレス309が格納されている。作成した志願票は、このアドレスを基に電子メール制御部211を用いて大学側に送信される。電子メールではなくフロッピーディスク等の記録媒体に志願票を格納し、大学側に送付する方法もあるが、本発明の実施形態の説明では、電子メールを用いる場合を中心に説明する。

【0020】(ステップ511)大学側の電子メール制御部106では受け取った電子メールから志願票を取り出すと共に、受信通知を志願者の処理装置へ送付する。(ステップ512)これにより、志願者は志願票が確実に受け取られたかどうかの確認を行う事ができる。

【0021】電子メール制御部で取り出された志願票は、志願票チェック104において受験番号の付加などが受験票等に行われる。次に、志願マスタ作成部105によって志願票の記載内容が志願マスタに格納される。(ステップ513)図4は志願マスタの構成を示したものである。受験番号401を筆頭として志望学部・

学科や氏名などが志願者1名1レコードで格納されている。これにより、従来の方式のように紙で送られてきた志願票を電子化する作業が、人手を介さずに出来るように成る為、電子化作業の負担が軽減できる。

# 【0022】

【発明の効果】本発明によれば、志願票とその入力項目のチェックプログラムを記憶媒体による配布や電子メールによるアクセスを可能にする事により、志願者が紙やOCR用紙に記入する事によって作成していた志願票が電子化され、更に入力内容のチェックが自動的に行われる為、従来の方式のような記入ミスは無くなり、入力ミスが即座に修正する事ができる。そのため志願票作成の負担軽減を実現する事ができる。大学側にとっても電子情報として志願票が入手できる為、志願票のチェックやデータの電子化作業の大幅な負担軽減を実現する事ができる。また、志願票の提出方法に電子メールを用いる事

により、志願者にとっては志願票が受理されたかどうか  
が即座に解るメリットもある。

## 【図面の簡単な説明】

【図1】 システム構成図

【図2】 処理装置の構成図

【図3】 入力画面およびチェックテーブルの構成図

【図4】 志願マスタのデータ構成図

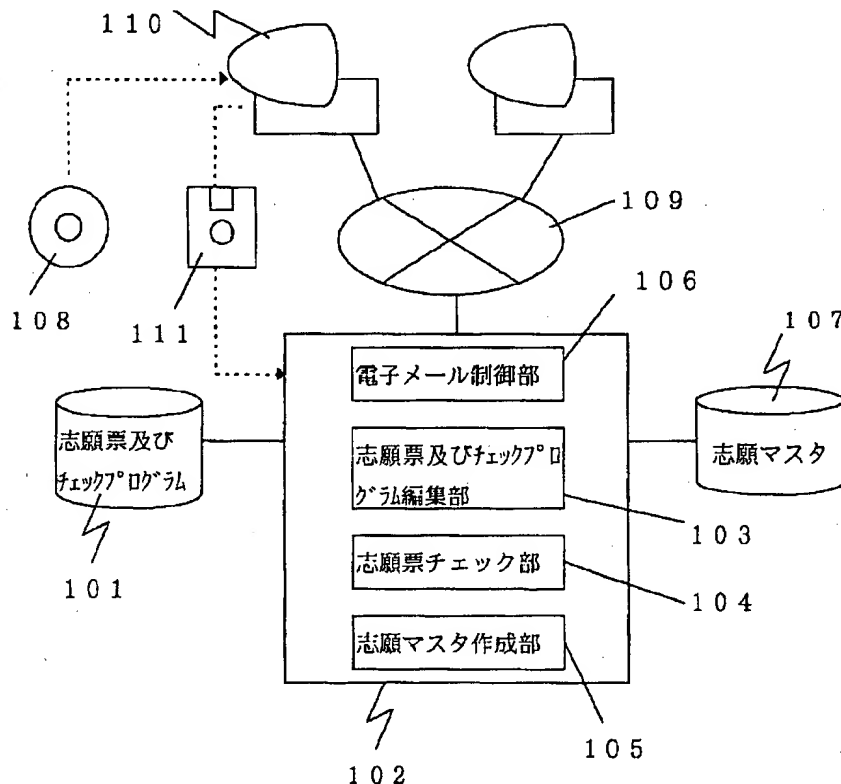
【図5】 処理フロー

## 【符号の説明】

101…志願票及びチェックプログラム記憶手段、102…ホストコンピュータ、103…志願票及びチェックプログラム編集部、104…志願票チェック部、105…志願マスタ作成部、106…電子メール制御部、107…志願マスタ、108…記憶媒体、109…公衆回線網、110…処理装置。

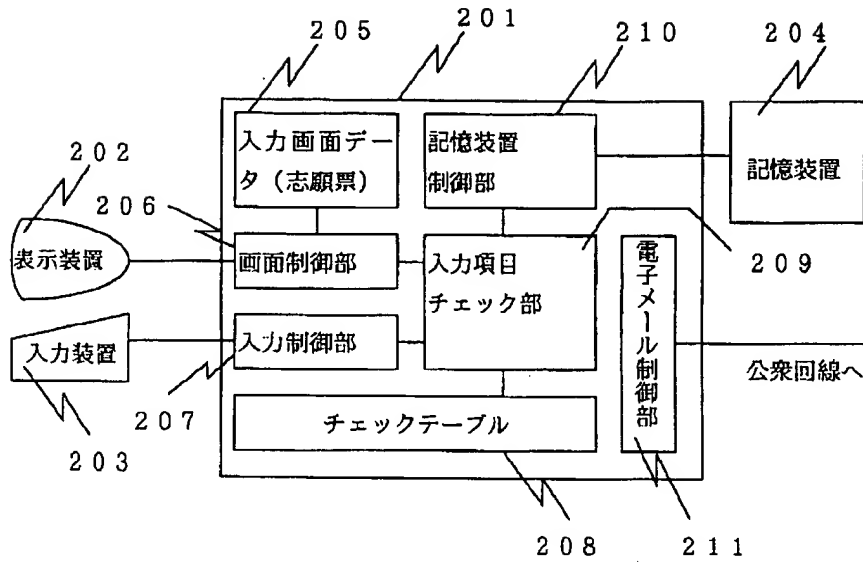
【図1】

図1



【図2】

図2



【図3】

【図4】

図3

図4

301

志願票		受験票	
志望学部・学科		志望学部・学科	
氏名		氏名	
出願資格		...	
高等学校等コード			
高等学校等名			
課程			
学科			

302 303 304

志望学部名	志望学科名	同一内容
情報工学科	情報通信工学科	受験票...
情報工学科	情報システム工学科	受験票...

305 306 307 308

高等学校等コード	学校名	課程	学科
11111A	日本高等学校	全日制 定時制	普通科 工業科
11111B	世界高校	全日制 定時制 通信制	普通科 商業科 農業科

309

電子メールアドレス
ADRS0001

401

受験番号	志望学部・学科	氏名	学校名	課程	...
12345	情報通信工学科	日本 太郎	日本高等学校	全日制	...
12346	情報システム工学科	世界 花子	世界高校	通信制	...

【図5】

図5

